

2024年3月13日

大阪国際空港 EV 充電サービス「WeCharge」運用開始

~電気自動車での空港利用をもつと便利に~

関西エアポート株式会社は、2024 年 3 月 29 日(金)より大阪国際空港駐車場の予約エリアにおいて、EV 充電サービス「WeCharge」の運用を開始することをお知らせいたします。

本サービスでは、アプリを通じて、電気自動車の EV 充電の手続きから料金精算までを行うことができます。国内空港で最大規模数^{*}となる計 184 基の EV 充電コンセントを設置し、今後ますます高まっていくことが予想される EV 需要に対応します。本サービスの導入により、電気自動車の導入促進や、電気自動車で空港駐車場を利用される皆さまの利便性向上が期待されます。

関西エアポートグループは、今後も引き続き環境負荷低減に向けた取り組みを積極的に取り入れ、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

※2024年2月時点

【電気自動車充電サービス WeCharge について】

ユビ電株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:山口典男)が提供する EV 充電サービスで、 スマートフォンがあれば、 WeCharge アプリを通じて手続きから料金精算までを簡単に行うことができます。 日本全国のマンション・アパート・ビルに拡大中で、 旅行先のホテルや商業施設など、 WeCharge が利用可能な場所ならどこでも充電が可能なのが最大の特長です。



概要

運用開始日:2024年3月29日(金)

設 置 場 所: 大阪国際空港(伊丹空港) 駐車場予約エリア 計 184 基

北立体駐車場① 3F (84基) 南立体駐車場 2F (100基)

普通充電設備: 200V EV 充電用 3kW コンセント

※ご利用には駐車場の予約及び WeCharge スマートフォンアプリが必要です。 ※EV 充電用 3kW コンセントには、200V 対応の充電ケーブルが必要です。

ご予約や詳細についてはこちら: https://www.osaka-airport.co.jp/access/parking/reservation

【報道関係の方からのお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社 グループコーポレートコミュニケーション部 パブリックリレーション Tel: 072-455-2201

Shaping a New Journey



関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社と VINCI Airports (ヴァンシ・エアポート)を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港 (KIX) および大阪国際空港 (ITAMI) の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016 年 4 月 1 日より両空港の運営会社として事業を開始しています。

また、2018 年 4 月 1 日からは関西エアポート株式会社の 100%出資会社である関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港(KOBE)の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。

"One 関西エアポートグループ"として、空港の安全とセキュリティを最優先に、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化してまいります。また、関西 3 空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへの貢献につなげてまいります。

詳しくは、関西エアポートグループホームページ: www.kansai-airports.co.jp/をご参照ください。

関西エアポート株式会社(関西国際空港および大阪国際空港の運営)

MALE NO THOUSE (MALE COSTO) (MAINTENANCE)					
本社	大阪府泉佐野市泉州空港北1番地 大阪市西区西本町一丁目4番1号(登記上)	株主	オリックス 40%、 ヴァンシ・エアポート 40%、 その他の出資者 20% ¹		
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ				
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管	理受託業務等			

関西エアポート神戸株式会社(神戸空港の運営)

本社	兵庫県神戸市中央区神戸空港 1番	株主	関西エアポート株式会社 100%
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	神戸空港の運営、維持管理業務等		



オリックスグループについて

1964年に設立されたオリックスグループは、法人金融、産業/ICT機器、環境エネルギー、自動車関連、不動産関連、事業投資・コンセッション、銀行、生命保険など、多角的に事業を展開する企業グループです。現在は、世界約30カ国・地域において、約35,000人の役職員により事業を展開しています。

オリックスグループの社会における存在意義は、「世の中がよりよい方向に進むきっかけとなる、"未来をひらくインパクト"をもたらすこと」です。この Purpose を軸に、グローバルで一体となり、社会に貢献してまいります。

詳細は https://www.orix.co.jp/grp/ をご覧ください。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、13 か国において 70 以上の空港を運営しています。総合インテグレーターとしてのノウハウを駆使して空港の開発、資金調達、建設、運営を行うとともに、その投資能力と専門知識を活かした空港運営の最適化、施設改修、環境経営推進に取り組んでいます。

ネットワーク全体で 2050 年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするため、2016 年から他の空港運営事業者 に先駆けて国際的な環境戦略を展開しています。

詳細は www.vinci-airports.com をご覧ください。

「株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社 JTB、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニックホールディングス株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構